

さっぽろ環境インタープリター養成プログラム

開校式（平成27年7月11日実施）

上田 文雄氏 基調講演

～前市長「環境首都・さっぽろ」を語る～

実施アンケート

問い：【前市長上田文雄氏「環境首都・さっぽろ」を語る】
の講座ではどんなことを得ることができましたか？

1	<p>「市民自治」対話の場を設けることが大切です。</p> <p>市の財産についてみんなで課題を知り、目標に向かって努力していくことの大切さを知りました。ゴミの減量の成果はそこにあると思いました。原発の発電量が41%であったことに驚きました。北海道の再エネのポテンシャルを掘り起こしたいです。</p>
2	<p>○省資源エネルギーは創資源エネルギー。</p> <p>○他人事ではなく、ひとり一人の問題としてさっぽろの環境を考える。</p>
3	<p>ガマンしなければならない事などもう少し多面的な話も聞きたかった。</p>
4	<p>札幌市が収支改善のひとつとしてエネルギー施策即ちゴミ廃棄量削減を実行して 430 億円もの節約を実現されたことを知りました。</p> <p>東京から移転した者には面倒なゴミ分別でしたが、改めてその意義を知り有意義な講演でした。</p>
5	<p>分別、リサイクルについては、有料化について市民の参加、実感を持つ事で成功につながったということが勉強になりました。</p> <p>省エネはピークカット、廃棄物についての倫理等行政運営についての考え方を知ることができた。</p>
6	<p>○札幌近郊、北海道の環境をとりまく歴史について。</p> <p>○地球環境と環境破壊その対策と取り組み方。</p> <p>○「環境首都・さっぽろ」の取組み、3R。特にゴミ問題を有料化にすることで大幅に減少→市民の力で勝ち得た結果である。</p> <p>これからも市民ひとり一人が意識を高く持つ事で変えていくことができる。</p> <p>○脱原発依存を札幌市は国に求めた。（市議会全員一致＝札幌市民の意見とした）</p> <p>エネルギー転換調査（41%）を①省エネでまかなうことを市民に呼びかけ。</p> <p>○再生可能エネルギーの使用が必要。またそれらを伝える説得力が必要である。</p>
7	<p>ひとり一人がしっかりと意識を持って環境問題に取り組む重要性、そして、それを周りの人と共有し、実行していくこと。ゴミの分別をはじめとして、環境問題を考えていくこと。</p> <p>これからのエネルギーについて考えていくこと。</p>
8	<p>上田前市長の考え方、政策の方向性などが大変勉強になりました。</p>
9	<p>間近で直接お話を伺えることができ、貴重な体験となりました。</p> <p>ゴミの減量の取組みについては一市民として理解しておりましたが、そこに至るまでの札幌市の職員の皆さんの努力の成果を実感しました。</p>

	<p>目標達成が早く、札幌市民としてほめられて嬉しかったです。</p> <p>泊原発に対する取り組みは、市長時代から伺っておりましたが、ただ「知っている」だけでなく、行動したり「伝えたり」することが大切なのだと強く思えました。</p>
10	<p>グループ共通の問題に取り組むには、メンバーのひとり一人が問題を改善していこうとする意志を持って、参加していこうとする積極性が必要であること。</p>
11	<p>北海道の中の札幌として、環境都市へ向けての取り組みが具体的に分かった。</p> <p>札幌は海外からの観光客も多く、ただクリーンなイメージではなく、市民ひとり一人が意識を持つ事の大切さ。また、日々の生活でどう工夫するか知識を持つ事の大切さを語っていただいた。</p> <p>私自身もより意識を持っていくきっかけとなりました。</p>
12	<p>○札幌の活動の一端を少し知ることができました。</p> <p>○まだまだ市民全体の自覚と札幌市に対する共有の環境整備が必要だと思います。</p>
13	<p>宇宙船地球号の乗組員である私たちにとって、環境問題はやはりひとり一人が自分の事として取り組む気持ちになって結果が生れてくるものと改めて感じました。</p> <p>ゴミの処理場問題解決の際、ゴミの分別化、ゴミ袋を有料化にすることによって解決できた話はまさにひとり一人が取り組んだ結果です。</p> <p>環境問題はもっともっと市民で取り組んでいく事を考えていきたいです。</p>
14	<p>環境は一人では変えられない、という言葉が心に残ります。</p> <p>周囲の人をその気にさせる伝え方、知識を学びたいと思います。</p> <p>そして`信念”が大事だとお話を聴いていて感じました。</p>
15	<p>地球環境問題、地球温暖化やエネルギー問題は大きな問題ですが、自分達の環境を悪化させない事だから一人ひとりが関心を持って出来るゴミの量を減らしたり、電力の省エネに協力するなど身近な問題として考えよう。</p>
16	<ul style="list-style-type: none"> ・札幌市のゴミ問題を通じた市民議論の経験があること。 ・視聴、市役所、職員との話の場を市民が作ること。
17	<p>上田市長は弁護士だったんですね。</p> <p>「泊原発」一番の関心です。環境首都＝自然とどう向き合えるか？難しいです。</p> <p>近代化とエネルギー・ゴミの問題・リサイクル、リユース、目に見えることから取り組むこと。</p> <p>市民参加の問題の取り組み方が成功したと自信が持てる。自然にできる事が良かった。</p>
18	<p>学生からの思いを有言実行され、ただトップダウンで政策を推し進めるのではなく、いかに市民に理解してもらい実行に移してもらうかという考え方、手法を知ることができました。</p>
19	<p>札幌市で行われている環境問題への取り組みを知ることができました。</p> <p>ゴミを減量するため市民への呼びかけ、理解を得るための努力を最大限に行った結果、成功に導けた貴重な事例であると感じました。</p> <p>現在はエネルギーの問題に取り組んでいるということで、今後も気になるところです。</p> <p>私たち一人ひとりがやる気を持つ、持たないことで解決出来る事はあると感じました。</p>
20	<p>一人ひとりの台所でのゴミ分別がゴミの減量化につながり、街づくりにつながっていくというダイ</p>

	<p>ナミックな話しに改めて納得させられました。</p> <p>街づくりというと偉い政治家のセンス一達がコツコツと進めるものだというイメージがありますが、本来は「市民自治」なのですね。市民一人ひとりが尊重されるということは、一人ひとりの責任が問われるということ。原発に関しても「脱原発依存」というだけでなく、一人ひとりが消費エネルギーについて考え、出来ることから取り組むことが大切だと実感しました。</p> <p>そして何より「戦争」こそが最大の「環境破壊」だということを肝に銘じて次世代につないでいくことを各人が実践していくことが大切ですね。</p>
21	<p>“分ければ資源”と職場（小学校）で用務員さんがいつも仰っていました。身近なところに“エコ”があるなど。今の仕事（小学校関連）になってから意識するようになりましたが、上田さんのお話で、`小さなことがグローバルになる”ということを改めて気付かせていただき、心から感謝です。これからも札幌を一緒に作っていきたいと思いました（おこがましいですが）。</p> <p>そして来年の雪祭りにもまた是非ふくろう役で出演してください。</p>
22	<p>前市長の御活躍の環境問題、原発問題、まちづくり、ゴミ問題。</p> <p>一人ひとり自分達の問題。環境破壊の最大は戦争。</p>
23	<p>上田前市長が学生時代から環境問題に興味を持ってその活動が今までつながっていることがまずすごいと思いました。</p> <p>市民参加でゴミ減量に取り組み、半年で成果を出せたことは情報提供、話す場という市民に近づく活動をしてきたからだと感じました。</p>
24	<p>誰がどう伝えるかという事で、同じ内容のものでも大きく伝わり方が変わってくる事。</p> <p>個別の政策的な内容は広報誌や新聞に載っていた事柄であるはずですが、伝わらなかったと思われるだけに本講座の開講にあたり貴重な講話をいただきました。</p>
25	<p>普段から気をつけてはいますが、まだまだ知らないことがあります（例えば生ゴミの大半が水分であったことなど）確かに言われてみればそうだよな、という気づきがありました。</p>
26	<p>篠路清掃工場の改修問題がゴミの有料化につながっていたことが分かりやすく理解できた。</p> <p>市民の誇り（シビックプライド）としてこれからの街づくりにつながっていくのではないかと。</p>
27	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミの諸問題。 ・ 市民と共生の市民参加。 ・ それが街づくりなんだと街のメンバーとして取り組み。 ・ 我々も一人も認識を持ってやる。 ・ エネルギーの諸問題。 ・ 環境問題、トライ、呼びかけ。 ・ みんなの問題である。仲間を増やす。知恵の出し合い。
28	<p>市長時代の札幌市での環境活動での取り組み、ゴミ問題、エネルギー転換への再生エネルギー活用。</p> <p>市民に伝える力で変えることが可能になり得ること。</p> <p>色々な分野の方の知識で講座を通じて参加者が活躍できる場面ができることを考えていきたい。</p>

さっぽろ環境インタープリター養成プログラム

開校式（平成27年7月11日実施）

渡邊 昇氏 講演

～「札幌の観光とボランティアの存在」～

実施アンケート

問い：【札幌の観光とボランティアの存在】

の講座ではどんなことを得ることができましたか？

1	同じボランティアガイドをしておりますが、お客様に寄り添ったおもてなしについて大変勉強になりました。大、大先輩です。外国の方への伝え方、私も大きな問題だと思います。語学等知識を深める研修が増えるとありがたいです。
2	旅の思い出作りのために工夫をして下さったり、日々変わっている札幌の街を細かくネタを探る努力しているボランティアさんの考え方を勉強しました。
3	・札幌の現状はどんどんと変わってきていること。 ・札幌への愛情とおもてなしの心。
4	観光教育→とても良い事だと思います。 大人になってから観光市（札幌）に学んでは遅いです。小・中・高からの教育が大事です。以前教員だったので、とてもお話するのが上手です。 話し方って大切なんですね。勉強が必要だと思いました。
5	札幌の街を色々な視点を見て、色々なアイテムを用いることで分かりやすく伝えられている。また、資料収集やポストカードなどにも努められており、色々工夫されていることを知ることができました。
6	ただ自分の知っていることを淡々と話すのではなく、短く簡単にまとめる事も必要。皆が知っているような情報だけでなく、新鮮で相手が知り得なかったことも話に盛り込むことも必要であること、など、話すだけで終わらない工夫が必要であると感じました。
7	札幌市観光ボランティアの仲間に入れていただいて6年になりますが、毎日違う観光客の方が来られ、新鮮な出会いがあるのですがマンネリ化もあります。 渡邊先生から見慣れた狸小路にも新浅草観音堂があったこと、どうして中小路が出来たかなど、興味深いお話でした。 また、私自身もとまどいがありますが、外国からのお客様が急増し困った時もありますが、言葉が通じなくても思いやり気配りですね。 また、市民にとっていいことだと思っていた大通公園イベントが環境悪化につながっている事など、多角的に見る目が必要だと実感しました。
8	新鮮発見などの紹介。常に色々調べお客様の側に寄り添って。
9	今まで知らなかった狸小路を知ることができ興味を持ってました。 見て聞いて楽しい話でした。外国の方への配慮も必要だと感じました。

10	観光ボランティアとしての心構え、着眼点。具体例を見ることで非常に勉強になりました。配布物の個人制作は参加ボランティアでは禁止されているためすぐに取り入れることはできませんが、自身の引き出しを数多く持つことの大切さを実感しました。
11	何気なく通り過ぎる街中に問題点や歴史等、知っていくべき事があるとい事が分かりました。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝えるための手法を工夫することでお客様の思い出や新鮮な気持ちとして心に残ることが理解できた。 ・ 大通公園などの楽しいイベントが自然環境にも影響を与えていることに驚いた。 (かるがもの減少、カラスの増加、木の病気)
13	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダム、水についての考え。 ・ 外人へのおもてなしと接し方。
14	観光についての話題であるが、伝えることについての共通の考え方について感動の与え方、また伝えるための知識経験など。
15	先に見て聞いて楽しい話題。「詳しく」は後で。
16	好奇心、探究心の感度を上げないといかんなあ、と改めて感じました。
17	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人に合った情報提供の大切さ。 ・ 2回も同じことを言う必要があったり、なかったりはその場の雰囲気で決める必要がある。 ・ そのために常に物事に対する情報を得る努力を忘れないことが大切と思いました。
18	“北海道”の命名の秘話はとても興味深いものでした。日々観光ボランティアとして狸小路3丁目を基点に尽力されている様が写真などを交えた説明で良く理解できました。札幌をもっと知り、多くの人により良く伝えることを。
19	より新鮮な見所の紹介について、発見する視点について知ることができました。絵葉書、PHOT 短歌、手作りの物品がとても良いです。
20	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北海道の名前の由来を楽しく知ることができました。 ・ 旅の思い出づくりにイラストや写真、短歌を利用され、個性を出すことは素晴らしい。 ・ 札幌の街を日々勉強され、外国人の方にボランティアでお伝えすることは素晴らしい。
21	知らないことが結構あると気がつきました。
22	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光する人への伝え方を工夫すること。 ・ 人に寄り添うおもてなしを考え、実行すること。 ・ 街の紹介は常にアップデートし、街を自分自身で歩いて探していくこと。 ・ 自分の目で見なければ分からないことを探していく楽しみ。
23	北海道・札幌の歴史など勉強になり、渡邊先生のファンになりました。
24	<p>狸小路のお話が楽しかったです。</p> <p>ポストカード、短歌、しおり…発想が豊かで勉強になりました。</p> <p>すてきな人生の先輩のお手本に出会えて幸せな時間でした。</p> <p>おもてなし…真似出来るところから始めます。感謝！！</p> <p>たくさん写真を分かりやすく視覚資料の大切さを知りました。</p>
25	こちらの話したいことを一方的に伝えようとするのではなく、聞き手の気持ちを考えながらで

	<p>きるだけ聞きやすい内容にするということ。 身近にあるからこそ知っている内容は身近にない人からすると大切な内容である。</p>
26	<p>渡邊さんの我が街を愛するという思いが伝わりました。 街の様々な風景をよく観察していると感じました。 私も渡邊さんに札幌を案内してほしくなりました。 分かりやすく伝える大切さは大変勉強になりました。 私も札幌市観光ボランティアに参加していますが、今回渡邊さんとの出会いに感謝致します。</p>
27	<ul style="list-style-type: none"> ・観光と自然環境の共生は難しい。 ・観光事業を推進することは本当に札幌市にとって良好なことなのか疑問です。
28	<p>観光都市札幌へ来られるお客様に喜んでもらえるようにいろいろと考えながら取り組まれているボランティアの存在は大きいですね。 外国人の対応などもできるよう若い人材も育っていくといいなあ、と感じました。</p>